

の指標としての血圧変動の特異性：左室機能による差。第51回自律神経学会総会，1988，11，東京。

- 24) 酒井重数，梅野克身，西条寿夫：長時間立位負荷後の下肢筋 Massage による副交感神経活動の効果。第7回日本接骨医学会，1998，11，静岡。
- 25) 酒井重数，梅野克身，西条寿夫：刺鍼時における心拍，収縮期血圧の変動。第49回日本鍼灸学会，1998，10，京都。

#### ◆ その他

- 1) 西条寿夫：サルおよびラット中隔核における空間概念の形成機構。文部省重点領域研究「人工現実感に関する基礎的研究」。平成9年度第2回全体会議，1998，1，東京。
- 2) 西条寿夫，小野武年：サルおよびラット中隔核における空間概念の形成機構。文部省重点領域研究「人工現実感に関する基礎的研究」。平成9年度第2回全体会議予稿集，9-10，1998。
- 3) 西条寿夫：海馬体場所ニューロンの情報処理機構「高次脳機能のシステムの理解」第4班「情動と思考のメカニズム」。平成9年度冬の班会議，1998，1，東京。
- 4) 小野武年，西条寿夫，田村了以，永福智志：認知・情動・記憶の脳辺縁系機構。文部省重点領域研究「高次脳機能のシステムの理解」報告書(2)，138-139，1998。
- 5) 西条寿夫：場所学習における海馬体の役割。平成9年度生理学研究所研究会「脳の情報統合と行動発現のメカニズム」，1998，1，岡崎。
- 6) 小野武年，西条寿夫，上野照子，鐘咏梅，山口英俊：海馬体損傷ラットの場所学習障害に対する紅蔘の改善効果一行動学的，神経生理学的，および薬理学的研究一。第13回薬用人蔘研究会，1998，3，神戸。
- 7) 西条寿夫，小野武年：味覚識別の神経機構。うまみ研究会シンポジウム「食と健康一味覚と栄養の観点から」，1998，3，東京。
- 8) 西条寿夫，上野照子：ラット扁桃体一帯状回における情動関連刺激の再現機構。平成10年度生理学研究所研究会(1)「情動・意欲をいかにとらえるか」，1998，9，岡崎。

## 生 理 学 (2)

教	授	小	野	武	年
助	教	授	田	村	了
助	教	授(前)	西	条	寿
助	手		永	福	智
助手(研究休職)			田	淵	英
技	官	上	野	照	子

#### ◆ 著 書

- 1) Zhong, Y.M., Nishijo, H., Uwano, T., Yamaguchi, H. and Ono, T.: Red ginseng ameliorates place learning deficits in aged rats and in young rats with selective hippocampal lesions. In Advances in Ginseng Research-Proc. of 7th Int. Symp. on Ginseng, by Huh H., Choi K.J. and Kim Y.C. (Eds.) 1-11, The Korean Society of Ginseng, Korea, 1998.
- 2) 上野照子，西条寿夫，小野武年：脳虚血ラットの場所学習障害に対する薬用人蔘の改善効果。「中西医结合：動脈硬化症・血栓症・一次予防」尾前照雄，陳紹武，熊谷朗，鄧明魯，于維漢監修，都島基夫，山本昌弘，家森幸男，金恩源編，523-530，第3回中西医结合：動脈硬化症・血栓症・一次予防国際シンポジウム組織委員会，大阪，1998。
- 3) 西条寿夫：記憶と扁桃体。「最新脳と神経科学シリーズ8：記憶とその障害の最前線」高倉公朋，宮本忠雄監修，98-114，メジカルビュー社，東京，1998。
- 4) 田村了以，小野武年：加齢と記憶障害。「最新脳と神経科学シリーズ8：記憶とその障害の最前線」高倉公朋，宮本忠雄監修，142-150，メジカルビュー社，東京，1998。
- 5) 小野武年，田村了以，中田恭史，栗本博昭：脳虚血ラットの場所学習・記憶障害に対するT-588の改善効果。「虚血性神経細胞死」金澤一郎，吉岡亨，山下純宏監修，132-146，サイメッド・パブリケーションズ，東京，1998。

#### ◆ 原 著

- 1) Nishijo, H., Uwano, T., Tamura, R. and Ono, T.: Gustatory and multimodal neuronal responses in the amygdala during licking and discrimination of sensory stimuli in awake rats. J. Neurophysiol., 79: 21-36, 1998.

- 2) Ikeda, H., Nishijo, H., Miyamoto, K., Tamura, R., Endo, S. and Ono, T.: Generators of visual evoked potentials investigated by dipole tracing in the human occipital cortex. *Neuroscience*, 84 : 723-739, 1998.
  - 3) Hagino, H., Tabuchi, E., Kurachi, M., Saitoh, O., Sun, Y., Kondoh, T., Ono, T. and Torii, K.: Effects of D<sub>2</sub> dopamine receptor agonist and antagonist on brain activity in the rat assessed by functional magnetic resonance imaging. *Brain Res.*, 813 : 367-373, 1998.
  - 4) Eifuku, S. and Wurtz, R.H.: Response to motion in extrastriate area MSTl: center-surround interactions. *J. Neurophysiol.*, 80 : 282-296, 1998.
  - 5) 小野武年, 西条寿夫, 上野照子, 鐘咏梅, 栗本博昭: 老齡ラットの場所学習障害に対するコウジン末の改善効果. *The GINSENG REVIEW* 24 : 66-72, 1998.
  - 6) 小野武年, 西条寿夫, 上野照子, 鐘咏梅, 山口英俊: 海馬体損傷ラットの場所学習障害に対する紅蔘の改善効果—行動学的, 神経生理学および薬理学的研究—. *The GINSENG REVIEW* 25 : 56-69, 1998.
  - 7) 鐘咏梅, 小野武年, 西条寿夫, 上野照子, 山口英俊: 紅蔘末の中樞性作用による老齡ラットの学習・記憶障害の改善. *和漢医薬学雑誌* 15 : 237-240, 1998.
- ◆ 総 説
- 1) 永福智志, 小野武年: 情動の神経回路. *臨床精神医学* 27 : 11-21, 1998.
  - 2) 小野武年, 西条寿夫: 脳波と双極子追跡法. *医学のあゆみ* 184 : 613-618, 1998.
  - 3) 西条寿夫, 小野武年: ニューロン活動慢性記録法. *医学のあゆみ* 184 : 625-633, 1998.
  - 4) 西条寿夫, 小野武年: 扁桃体と情動記憶. *脳の科学* 20 : 723-731, 1998.
  - 5) 永福智志, 小野武年: 情動のニューロン機構. *細胞工学* 17 : 1594-1604, 1998.
  - 6) 田村了以, 小野武年: 老化の脳内メカニズム. *臨床科学* 34 : 1510-1521, 1998.
  - 7) 近藤高史, 田渕英一, 鳥居邦夫, 小野武年: 機能的磁気共鳴画像法と高次脳機能. *臨床科学* 34 : 247-258, 1998.
  - 8) 西条寿夫, 小野武年: 味覚を識別する中枢機構. *化学と生物* 36 : 805-812, 1998.
  - 9) 小野武年: 香りと情動と脳. *aromatopia* 27 : 22-29, 1998.
  - 10) 西条寿夫, 小野武年: 脳内双極子追跡法による脳機能推定. *北陸神経精神医学雑誌* 12 : 1-17, 1998.
- ◆ 学会報告
- 1) Kondoh, T., Ono, T. and Torii, K.: Increases in cerebral and muscular blood flow detected by the flow-weighted MRI after an injection of pentobarbital in awake rats. 6th Int. Soc. for Magnetic Resonance in Medicine, 1998, 4, Sydney.
  - 2) Ono, T.: Neurophysiological basis of emotion in primates: neuronal responses in the monkey amygdala and anterior cingulate cortex. Summer Inst. in Cognitive Neuroscience, 1998, 7, Reno.
  - 3) Ono, T., Nishijo, H., Uwano, T., Zhong, Y. M. and Yamaguchi, H.: Red ginseng ameliorates learning deficits due to lesions of hippocampal CA1 subfield in young rats and those in aged rats. 7th Int. Symp. on Ginseng, 1998, 9, Seoul.
  - 4) Tamura, R., Zhou, T.L. and Ono, T.: Activity of medial and lateral septal neurons during performance of spatial tasks in rats. Brisbane'98 (FAOPS, FAONS, APPS and PSNZ Joint Congress), 1998, 9, Brisbane.
  - 5) Nishijo, H., Ono, T., Uwano, T., Kondoh, T. and Torii, K.: Hypothalamic and amygdalar neuronal responses to various sapid solutions during ingestive behavior in rats. Int. Symp. on Glutamate, 1998, 10, Milano.
  - 6) Tanebe, K., Nishijo, H., Muraguchi, A., Saito, S. and Ono, T.: Characteristic changes of endogenous IL-1 $\beta$  and IL-2 during chronic stress in different hypothalamic areas: Possible roles in regulation of GnRH gene expression. 4th Int. Cong. of Neuroendocrinol., 1998, 10, Kokura.
  - 7) Uwano, T., Nishijo, H., Tanebe, K., Zhong, Y.M., Eifuku, S. and Ono, T.: Prenatal stress affects anatomical development, motor development, and spatial learning in rats. 28th Ann. Meet. Neurosci., 1998, 11, Los Angeles.

- 8) Nishijo, H., Tanebe, K., Muraguchi, A. and Ono, T.: Negative correlation between hypothalamic cytokines and LHRH gene expression in ovariectomized rats during stress. 28th Ann. Meet. Neurosci., 1998, 11, Los Angeles.
  - 9) Matsumura, N., Nishijo, H., Tamura, R., Eifuku, S. and Ono, T.: Monkey hippocampal neuronal responses to space during real and virtual navigation. 28th Ann. Meet. Neurosci., 1998, 11, Los Angeles.
  - 10) Torii, K., Tanaka, T., Ono, T. and Nijima A.: Effect of lysine on afferent activity of the hepatic branch of the vagus nerve in normal and lysine deficient rats. 28th Ann. Meet. Neurosci., 1998, 11, Los Angeles.
  - 11) Fukuhara, K., Konishi, J., Nishijo, H., Tamura, R. and Ono, T.: Neurotrophin attenuates hypoxia-induced depolarization in rat hippocampal CA1 neurons. 28th Ann. Meet. Neurosci., 1998, 11, Los Angeles.
  - 12) Hori, E., Nishijo, H., Tamura, R., Uwano, T. and Ono, T.: Effects of NC-1900 (a novel arginine-vasopressin derivative) on spatial memory impairment of rats with transient forebrain ischemia. 28th Ann. Meet. Neurosci., 1998, 11, Los Angeles.
- ◆ 学会報告
- 1) 西条寿夫: 双極子追跡法で何がわかるか—双極子追跡法によるてんかん脳波および感覚誘発電位の解析—. 第139回北陸精神神経学会特別講演, 1998, 1, 金沢.
  - 2) 上野照子, 西条寿夫, 鐘咏梅, 種部恭子, 小野武年: ラットの場所学習行動に対する胎生期ストレスの影響. 第75回日本生理学会大会, 1998, 3, 金沢.
  - 3) 松村内久, 西条寿夫, 田村了以, 高久晃, 小野武年: サル海馬体ニューロンの場所・空間記憶課題に対する応答性. 第75回日本生理学会大会, 1998, 3, 金沢.
  - 4) 豊満祐二, 上野照子, 西条寿夫, 田村了以, 倉津純一, 小野武年: 要素および構成刺激—報酬連合課題に対するラット扁桃体ニューロンの応答性. 第75回日本生理学会大会, 1998, 3, 金沢.
  - 5) 宮本啓一, 西条寿夫, 小野武年: 音波3次元ディジタイザーを用いた頭蓋形状測定装置の開発. 第37回日本M・E学会, 1998, 5, 倉敷.
  - 6) 小野武年: 紅蓼末の中樞性作用による老齡ラットの学習・記憶障害の改善. 第15回和漢医薬学会大会, 1998, 8, 富山.
  - 7) 柴田孝, 西条寿夫, 宮本啓一, 遠藤俊郎, 小野武年: 顔写真に対する視覚誘発電位(N170)の電流発生源推定. 第21回日本神経科学・第41回日本神経化学合同大会, 1998, 9, 東京.
  - 8) 西条寿夫, 上野照子, 田村了以, 小野武年: ラット扁桃体における味覚ニューロンの応答特性. 第21回日本神経科学・第41回日本神経化学合同大会, 1998, 9, 東京.
  - 9) 田村了以, 周天禄, 永福智志, 小野武年: 場所学習行動下ラットにおける内側および外側中隔核ニューロン活動の比較. 第21回日本神経科学・第41回日本神経化学合同大会, 1998, 9, 東京.
  - 10) 松村内久, 西条寿夫, 田村了以, 永福智志, 高久晃, 小野武年: サル海馬体ニューロンの空間・課題依存性応答. 第21回日本神経科学・第41回日本神経化学合同大会, 1998, 9, 東京.
  - 11) 鳥居邦夫, 近藤高史, 森将人, 小野武年: 糖尿病における食物選択と脳での認知. 1998年日本味と匂学会第32回大会, 1998, 10, 郡山.
  - 12) 柴田孝, 林央周, 西条寿夫, 遠藤俊郎, 高久晃, 小野武年: fMRIによる中心溝の同定: 双極子追跡法との比較検討. 第57回日本脳神経外科学会総会, 1998, 10, 札幌.
  - 13) 宮本啓一, 西条寿夫, 田村了以, 小野武年: 音波3次元ディジタイザーを用いた頭蓋形状の双極子推定計算精度. 第28回日本脳波・筋電図学会学術大会, 1998, 11, 神戸.
- ◆ その他
- 1) 西条寿夫: サルおよびラット中隔核における空間概念の形成機構. 文部省重点領域研究「人工現実感に関する基礎的研究」. 平成9年度第2回全体会議, 1998, 1, 東京.
  - 2) 西条寿夫, 小野武年: サルおよびラット中隔核における空間概念の形成機構. 文部省重点領域研究「人工現実感に関する基礎的研究」. 平成9年度第2回全体会議予稿集, 9-10, 1998.
  - 3) 小野武年: サル帯状回における情動関連ニューロン. 文部省重点領域研究「高次脳機能のシステムの理解」第4班「情動と思考のメカニズム」. 平成9年度冬の班会議, 1998, 1, 東京.
  - 4) 西条寿夫: 海馬体場所ニューロンの情報処理機構. 文部省重点領域研究「高次脳機能のシステムの理解」第4班「情動と思考のメカニズム」. 平成9年度冬の班会議, 1998, 1, 東京.

- 5) 小野武年, 西条寿夫, 田村了以, 永福智志: 認知・情動・記憶の脳辺縁系機構. 文部省重点領域研究「高次脳機能のシステムの理解」報告書(2), 138-139, 1998.
- 6) 西条寿夫, 田村了以, 永福智志: ラット海馬体における情報選択機構の解明. 文部省重点領域研究「高次脳機能のシステムの理解」報告書(2), 156-157, 1998.
- 7) 田村了以: ラットにおける一過性前脳虚血の場所学習および海馬体内興奮伝播様式への影響. 平成9年度生理学研究所研究会「ニューロン・グリア細胞死の病態: その形態と機能の相関」, 1998, 1, 岡崎.
- 8) 西条寿夫: 空間学習における海馬体の役割. 平成9年度生理学研究所研究会「脳の情報統合と行動発現のメカニズム」, 1998, 1, 岡崎.
- 9) 小野武年: 脳辺縁系の高次脳機能. 平成9年度厚生省厚生科学研究費長寿科学総合研究事業佐藤班班会議, 1998, 1, 東京.
- 10) 小野武年: 脳と情動. 平成9年度JST異分野研究者交流フォーラム, 1998, 2, 松代.
- 11) 小野武年: 情動の脳内メカニズム. 平成9年度第52回富山県医学会講演, 1998, 3, 富山.
- 12) 小野武年, 西条寿夫, 上野照子, 鐘咏梅, 山口英俊: 海馬体損傷ラットの場所学習障害に対する紅蔘の改善効果—行動学的, 神経生理学的, および薬理学的研究—. 第13回薬用人蔘研究会, 1998, 3, 神戸.
- 13) 西条寿夫, 小野武年: 味覚識別の神経機構. うまみ研究会シンポジウム「食と健康—味覚と栄養の観点から—」, 1998, 3, 東京.
- 14) 小野武年: 脳辺縁系の高次脳機能. 厚生省厚生科学研究費長寿科学総合研究平成9年度研究報告Vol.1. 基礎老化, 336-341, 1998.
- 15) 小野武年: 健やかに老いしなやかに生きるパート2「脳の老化と紅蔘の予防効果」, 薬用人蔘六葉研究会第8回大会, 1998, 4, 福岡.
- 16) 小野武年: 情動の脳内メカニズム. 医報とやま(H10. 7. 15号No.1219), 7-19, 1998.
- 17) 小野武年: 情動の脳内メカニズム. 第28回新潟神経学夏期セミナー, 1998, 7, 新潟.
- 18) 小野武年: 脳と心—感情・記憶のメカニズムとその老化—. 北日本新聞文化センター健康セミナー, 1998, 9, 富山.
- 19) 西条寿夫, 上野照子: ラット扁桃体—帯状回における情動関連刺激の再現機構. 平成10年度生理学研究所研究会(1)「情動・意欲をいかにとらえるか」, 1998, 9, 岡崎.
- 20) Ono, T.: Spatial and task-dependent neuronal responses during real and virtual navigation in the monkey hippocampal formation. Research Seminar of Department of Physiology II, Nagoya City University Medical School, 1998, 11, Nagoya.
- 21) 小野武年: 第15回和漢医薬学会大会シンポジウム「老化と和漢薬」レポート: 紅蔘末が海馬体に作用し学習・記憶障害を改善. Medical Tribune, Vol.31, No.41, 6, 1998.
- 22) 小野武年: 情動のメカニズム. 仙台セミナー, 1998, 12, 仙台.